

理科(生物) 東北大学(前期) 経済(理系)・理学部・医学部・歯学部・農学部

<全体分析>

試験時間 2 科目 150 分

解答形式

選択, 記述, 論述, 描図

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

難度の高い考察問題が出題される。

論述量が多い。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	選択 記述 論述 描図	細胞 タンパク質 遺伝子	生物基礎 生物	問(4) カ は「キネトコア」でも正解になると思われる。	やや易
2	選択 記述 論述	受容器 神経・神経系	生物	問(5) 実際は, TRPM8 は陽イオンチャネルであるが, 設問文からは細胞内外でイオンが移動したことしか読み取れないため, 具体的にイオンの名称やイオンが移動する方向までは要求されていないと思われる。	標準
3	選択 記述 論述	進化 代謝 生態系	生物基礎 生物	問(5)(iv) 青色光は, フォトリロピンに受容され, 気孔の開口を促す。 問(5)(v) 教科書にはあまり記載がないが, 消去法で正解を選ぶことができたろう。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書レベルの知識を確実に身につけ、教科書の「参考」欄などにも目を通しておこう。

論述問題が多いので、短時間で要点をまとめて論述する練習をしておこう。

過去問の研究を十分にしておこう。